

21・老福連 第16回 職員研究交流集会 in 愛知

家族会運営委員 原田正利

今回 の研究交流集会に、いきなり新任の家族会運営委員の原田に参加のチャンスをいただき、本当にありがとうございました。介護といっても退職後2年半わたるお袋の介護経験しかない状況の中で、職員の方々から見た介護の話や介護関連の多く問題点の実態の一端を基調報告・記念講演の中で聞かせていただきました。分散会の中でも家族会の在り方や地域との連携など、介護関連について多くのことを学び、吸収することが出来ました。大変貴重な経験になり、認識を新たにすることが出来き、さらにいろいろなことを直接的に感じる事が出来た集会参加となりました。今回の集会に参加させていただいたことについて、本当に感謝をしております。この経験を通して、大切なことと感じた多くの思いを、今後の家族会活動の中で、少しでも生かしていければ良いのかなと、強く感じたところです。



初日 は全体集会で、オープニングセレモニーや21・老福連の基調報告・熊本地震の被災地からの報告・記念講演（Ⅰ・Ⅱ）など盛りたくさんの内容でした。夜には、豊橋駅前の立派なホテルを会場に、愛知・豊橋の食材をメインにした料理で、西岡代表幹事（白十字ホーム長）の乾杯音頭でお酒も少し入った、たのしい懇親交流会でした。分散会のメンバーでテーブルを囲み、手作り名刺交換で交流を深め、おいしい料理や介護



や家族会のテーマでの会話に華を咲かせるひと時でした。津軽三味線の演奏や超有名な？大阪方面の職員の方のエンターテイメント歌謡ショーなどもあり、時間のたつのも忘れて、あーという間に御開きの時間になってしまいました。最後に参加者全員が手をつなぎ、輪になって『花が咲く』を大合唱し終了しました。感動的な懇親交流会となりました。

2日目 は分散会で、家族会の参加者としてF分散会に参加しました。家族の介護者を支える（家族会の活動について）のテーマで3つの報告があり、『白十字ホーム家族会の主体性を支えるもの』というテーマで、山本さんがプロジェクターを使って素晴らしい発表を行いました。家族会の発足の経緯・家族会の組織現状と役員構成・多くの入所者や家族と一緒にを行う行事や地域とコラボした行事・実体験の話を聞きながらの看取りを考える学習会の開催・身近な問題をホームと話し合いながら進めていく家族会の活動の報告を行いました。白十字ホーム長の西岡さんが助言者としての的確なお話をいただき、



根本的に抱える家族会組織の継続性、地域とのかかわり等の問題を参加者でディスカッションをしました。午後には、東村山市市民文化祭で行われている「たらの芽音楽クラブ」様子をライブ中継（インターネット、スカイプ）しました。



初めて、このような分散会に参加して、家族会の運営活動の問題点に触れる中で、白十字家族会の40年の歴史と伝統、活動の多様性・主体性、地域とのかかわりなどに、改めて白十字ホーム家族会のすごさ、素晴らしさを感じました。今回、見聞きしたことをポジティブに考え、出来ることから少しずつでも、お手伝いをしていきたいと感じました。

3日目 最終日は、記念講演（Ⅲ）のあと、3年後の自分への手紙を書いて、最後に来年の開催地の兵庫へのバトンが渡され、AKB48の“365日の紙飛行機”の歌を参加者全員で大合唱し、紙飛行機を明日に向かって飛ばしました。これで3日間の全日程を終了しました。実行委員会の皆さんが1年間をかけての準備に、若い皆さんのパワーを大いに感じる職員研究交流集会に参加することが出来て大変よかったと思いました。介護保険の改悪や厳しい労働条件、賃金の問題など介護環境の厳しい状況の現状が続いています。若き青年介護士



みなさんの熱き思いと行動力、みんなの連帯の輪で必ずや変えていけると確信しました。記念講演の中で、本田先生も時代は必ず変わるとの話があり、変えていくのは君たちだ！！と。お袋の生活の支援をしていただいている現場の介護士さんや施設の多くの方々に感謝の思いで、応援できることに少しでも参加できるように頑張っています。微力ながら全力で行動を起こしていきたいと思えます。